

氏名	赤木達
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 3804 号
学位授与の日付	平成 21 年 3 月 25 日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科生体制御科学専攻 (学位規則第 4 条第 1 項該当)

学位論文題目	Additional Effects of Bosentan in Patients With Idiopathic Pulmonary Arterial Hypertension Already Treated With High-Dose Epoprostenol (高用量エポプロステノールにて治療されている特発性肺動脈性肺高血圧症患者へのボセンタン追加効果)
--------	--

論文審査委員	教授 成瀬 恵治 教授 山本 和秀 准教授 四方 賢一
--------	-----------------------------

学位論文内容の要旨

特発性肺動脈性肺高血圧症は、PGI₂ 製剤のエポプロステノールやエンドセリン受容体拮抗剤のボセンタンにて治療されている。現在これら薬剤の併用療法が提唱されているが、高用量のエポプロステノールで治療されている成人患者へのボセンタン追加効果については報告がない。我々は高用量エポプロステノールで治療中の 8 名の肺高血圧症患者にボセンタンを追加投与し、急性期・慢性期の血行動態及びエポプロステノール投与量を評価した。ボセンタン投与で急性期に有意な混合酸素飽和度の上昇及び収縮期肺動脈圧の低下を認め、7 名の患者でエポプロステノールの減量が可能であった。経過中肝障害及び右心不全で 2 名の患者が脱落、右心不全の患者はボセンタン投与時の肺動脈圧が高かった。残り 6 名は急性期に得られた効果を慢性期も維持でき、エポプロステノールの再増量も必要なかった。以上より高用量エポプロステノールで治療され且つ状態が安定している患者へのボセンタン追加投与は有効であることが示唆された。

論文審査結果の要旨

高用量エポプロステノールで治療中の 8 名の肺高血圧症患者にボセンタンを追加投与し、急性期・慢性期の血行動態及びエポプロステノール投与量を評価した。ボセンタン投与で急性期に有意な混合酸素飽和度の上昇及び収縮期肺動脈圧の低下を認め、7 名の患者でエポプロステノールの減量が可能であった。経過中肝障害及び右心不全で 2 名の患者が脱落、右心不全の患者はボセンタン投与時の肺動脈圧が高かった。残り 6 名は急性期に得られた効果を慢性期も維持でき、エポプロステノールの再増量も必要なかった。以上より高用量エポプロステノールで治療され且つ状態が安定している患者へのボセンタン追加投与は有効であることを示した価値ある業績である。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。